

令和5年度公衆衛生学前期試験 解答例

問1 (30 問×2 点)

(1) 保健サービス管理 学	(2) ICD	(3) 症例対照/患者対 照/ケースコントロール	(4) 有病割合 / prevalence	(5) オッズ
(6) ジョン・スノウ / John Snow (John は △、スノウは○)	(7) 未満	(8) 地域保健法	(9) 2016	(10) 感染源 (病原体は△)
(11) 感染経路 (注)10と11は逆も可	(12) ソーシャル・キャ ピタル	(13) 3	(14) 5	(15) 食品衛生法
(16) 食品安全委員 会	(17) 母子保健	(18) ゼロ次 (ゼロだけでも可)	(19) 被患率 (有病割合は△)	(20) 食品衛生 (法がついていると△)
(21) 1000	(22) 二	(23) 特定技能	(24) 医療保護入院	(25) ただちに (直ちに/ 24時間以内 にでも○)
(26) 侵襲性髄膜炎 菌感染症 (菌が落ちていると△)	(27) 肩こり	(28) 雇用者(雇用 主、事業主も○、企業 は△)	(29) 化審法	(30) 循環型社会形 成推進基本法

問2. (10 問×2 点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
c	d	e	d	a	e	e	c	b	c

問3. (20 点:採点基準は、説得力があることが第一です。ただし事実認識の明らかな誤りは減点します)

[1] SDGsのGoal3、Target8に掲げられていて、全ての人が適切な予防、治療、リハビリ等の保健医療サービスを、必要な時に支払い可能な費用で受けられる状態を指す。皆保険だけでは不十分である点に触れてほしい

[2] 逸話的情報、自己選択バイアス、健康労働者効果など、調査対象となるサンプルが正しく母集団を代表していないことから起こるバイアスの例を挙げていれば OK

[3] エボラウイルス感染症のように根絶か排除により流行が終息するパターン、2009年のパンデミックインフルエンザのように季節性インフルエンザの一つになって特別な対処が必要なくなったパターンに加え、COVID-19のように蔓延して常在化したために緊急対応が継続できなくなり、長期的管理に移行するパターンがある